

子ども真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和6年6月10日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 19
校長 田中 成年

〈あぜかりっ子の心を見つめる教育週間〉

～子供の心を見つめる～

6月24日（月）から6月29日（土）は、「あぜかりっ子の心を見つめる教育週間」です。朝の授業開始時刻8時30分から子供たちが帰る15時30分くらいまでの一週間、学校を開放いたします。

教育週間の始まりはご存じのとおり、平成15年7月1日の事件です。翌平成16年からこの教育週間への取り組みが始まりました。

目的：命を輝かせて生きる、

心豊かな長崎っ子の育成を図る。

- 命を大切にする心や思いやりの心の育成
- あこがれや将来への志を育成
- あいさつやマナーの向上

命の大切さを教えるだけではなく、「心を見つめる」ですので、「自身の将来を見つめ、目標をもつ」児童の育成や、本校も重点的に取り組んでいる「あいさつやマナー」についても、一緒に考え教えていくことが目的となります。

学校だけで考えるのではなく、地域の方々や保護者も皆様とともに考え、子供たちの「**健やか**」なる成長につなげていきたいと思えます。以前のたよりにも示しました「**子供は地域の宝**」「**地域の子供は地域で育てる**」さらには、「**家庭教育の充実**」にも、これまで同様、ご協力をお願いしたいと思えます。

「**地域に開かれた学校**」への取組の一つでもある「あぜかりっ子の心を見つめる教育週間」に、ぜひ多くの皆様に足を運んでいただき、子供たちの成長を見守っていただきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。